



Becon Medicalでは、生涯に渡って美しい耳を保つことこそが成功だと考えています。EarWellによって耳の変形は過去のものとなりました。

EarWell™  
request it by name

EarWell™  
infant ear correction system



EarWell 装着はわずかな時間で完了します。  
4~6週間後には、耳の形は正常になっています。



EarWell装着前      EarWell装着時      EarWell装着後

お子様に美しい耳

という贈り物を

もう赤ちゃんの耳が自然に良くなることを願ったり、外科的手術を受けるまで待つ必要はありません。赤ちゃんの耳に変形があっても、EarWellを使えば迅速にかつ永久的に治すことができるので安心です。

EarWellについては医師にご相談ください

< 販売代理店 >

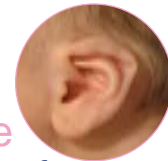


株式会社 松本義肢製作所  
しあわせをかたちにする人と技術の会社です

becon

Becon Medical Limited  
2307 Brinmore Court  
Naperville, IL 60540  
1-866-431-0480  
www.earwells.com

The shape of ears to come™



# Your baby is beautiful

NOW AND FOREVER

母親として、赤ちゃんにどのような特徴があったとしても決してその愛情が変わることはありません。耳の矯正をする画期的なシステムである「EarWell」は、周囲の人たちのあなたの赤ちゃんへの見方をあなたと同じようにするための手助けをします。



## 耳の変形は

見た目のことだけではありません

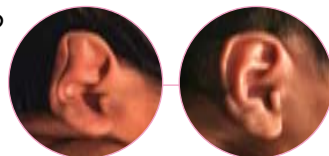
耳の変形を単なる美容上の異常と考える人もいるかもしれませんが、これを無視してしまうと子どもの**身体的・精神的な成長に悪影響を及ぼします**。研究によると、顔の異常、特に耳の異常を持つ子供たちは周囲からの嫌がらせや嘲笑などを受けることがあり、その結果自尊心の低下、不安感・社会的孤立感の増長、さらには感情的に引きこもってしまうケースが多いと報告されています。

## あなたと赤ちゃんの耳に

グッドニュース

EarWell新生児用耳矯正システムにより、耳が自然に改善されるのを“期待して待つ”必要はもうなくなりました。

また、耳の形が悪いというコンプレックスを抱えていくことで生じる精神的苦痛、不安なども外科的手術をせずに迅速に取り除くことができます。

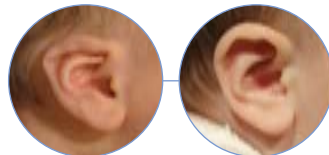


## 効果のある

シンプルで迅速な矯正システム

EarWellは、生後数日でお子さまの耳に装着することができます。4~6週間連続で装着し、終了時お子さまの耳の形は正常になっています。

EarWellは痛みを伴わないため、麻酔や鎮痛剤、薬などは必要ありません。非外科的、非浸食的であり、何よりも効果があります。



## 子どもの耳の形は

自分で治すことができますか？

耳の形は時間の経過とともに少しずつ改善する場合もあり、4~5歳になってから外科的手術が必要になる場合もあり、コンプレックスとずっと付き合っていかなければならないこともあります。残念ながら、**どのような耳が自然に改善するか、どのような耳は変わらないのか、どのような耳が悪化してしまうのかを予測できる医師はいません**。

幸いなことに、EarWellの矯正療法を使えば、お子さまの将来の身体的・精神的な幸福を危険にさらす必要はありません。



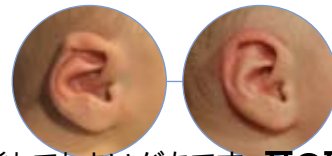
ビフォーアフターの写真は、耳矯正システムEarWellの矯正療法が本当に効果があることを証明するものです。

## 子どもの身体的・精神的ニーズ

を守るために

子どもは無邪気で純真ですが、知らず知らずのうちにお互いに残酷な行為をしてしまうことがあります。耳の形が良くないと

そういった行為を誘発してしまいがちです。**耳の形が良くない子どもはからかわれたりして何年も嫌な思いをすることになります**。あなたは子どものすべての痛みやトラウマを親として共有することになるかもしれません。しかし幸いなことに、もう何年も手術を待つ必要も、コンプレックスを一生受け入れるようお子さんを説得する必要もありません。



## 自然がもたらす 驚きの瞬間

新生児には耳の変形が頻繁に発生しています。ご家族が非常に気にされるケースも少なくありません。EarWellが登場するまで、小児科医は耳の変形が自然に改善されるのを“期待して待つ”か、最後の手段として将来的な外科手術を紹介するしかありませんでした。新米のお母さん方にとってはどちらの選択肢も大きな不安を抱かせるものでした。